

補助金評価シート

| 区分                    | 重点 <u>重点以外</u> | 補助根拠  | 法令補助 | <u>その他補助</u> | 開始時期 | 令和5年4月1日 | 終期 | 令和8年3月31日 |
|-----------------------|----------------|---|------|--------------|------|----------|----|-----------|
| 補助事業名<br>[下段に制度概要を記載] |                | 新潟市商店街連盟補助金<br>市内商店街・商店会の連携強化を図りながら調査活動、情報提供、各種講演会開催などを行う新潟市商店街連盟に対する補助金。 |      |              |      |          |    |           |
| 款・項・目                 |                | 商工費 商業費 商業振興費   |      |              |      |          |    |           |
| 所属等                   |                | 経済部 商業振興課 商業グループ 電話 025-226-1633  |      |              |      |          |    |           |

| 年度            |  | 令和5年度（1年目）   | 令和6年度（2年目）   | 令和7年度（3年目）   |
|---------------|--|--|--|--|
| 予算額等の推移       | 予算(千円)                                       | 2,100  | 2,100  | 2,100  |
|               | 決算(千円)                                       | 2,100  | 2,080  | 2,100  |
| 補助率           |  | 定額   | 定額   | 定額   |
| 目標            |  | 市内商店街の発展に資するための事業を実施し、魅力ある街づくりと組織の活性化を促進し併せて消費者の利便向上、商店街の近代化を図る。<br><目標が数値でない場合の評価方法><br>実績報告書等で事業の実施状況を総合的に判断し評価する。   |  |  |
| 目標に対する達成度（指標） | 達成率100%以上                                    |  |  |  |
|               | 達成率 80%以上                                    |  |  |  |
|               | 達成率 50%以上                                    |  |  |  |
|               | 達成率 50%未満                                    |  |  |  |
|               | 目標が非数値化<br>※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください | 歩行者通行量調査のカメラ化を実施し、AIソフトを導入した。年2回の歩行者通行量調査を実施し、前年度分の調査データ冊子を発行した。地域商業活性化フォーラムでは、歩行者通行量調査を題材とした講演を行い、AIソフトの勉強会も行った。<br>カメラ化にあたっては、データの不具合等もある状況だが、商店街の発展に資する事業の着実な取り組みがなされており、目標を達成している。 | 昨年度導入したカメラ化によって生じた課題を改善するため、カメラの移設や増設を行った。年2回の歩行者通行量調査を実施し、商店街活性化のためのデータとして活用した。<br>地域商業活性化フォーラムでは、街なかにおける「みどり」の価値を取り上げ、講演会を行った。また、三条市の商店街へ視察も行った。<br>歩行者通行量調査に苦戦し、補助額が割れる結果となったが、商店街の発展に資する事業の着実な取り組みがなされていると考えられる。 | 事業計画より、歩行者通行量調査の課題解決を図るための計画がなされており、商店街視察や各種研修会を行うなど、商店街の発展に資する事業への着実な取り組みが行われることが期待される。 |
| 補助事業者による情報の公表 |  | 総会資料   |  |  |

|  |   |                               |   |                             |   |
|--|---|-------------------------------|---|-----------------------------|---|
| 評価欄  | チェック  | a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか      | ○ | e. 指標の推移が維持・向上しているか         | ○ |
|  |   | b. 補助率は1/2以内か                 | × | f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか | ○ |
|  |   | c. 補助額が5万円以上になっているか           | ○ | g. 目標は数値化されているか             | × |
|  |   | d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか) | ○ | h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か      | × |
| ×になった項目に対する今後の取組   | <a～fにおける取組><br>当団体は、商店街・商店会の振興発展を図る事業を行っているものの財政基盤が弱く、事業実施のためには会費の収入だけでは賄えないことから、定額補助としているが、定額補助の在り方については、検討していく。 |                               |   |                             |   |
|  | <g～hにおける取組><br>今後は補助金の成果をより分かりやすく検証するため、歩行者通行量調査の実施回数や各種研修会の開催数などの数値化を検討する。                                       |                               |   |                             |   |
| 目標未達成の原因分析   | <期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>   |                               |   |                             |   |
| ① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② <u>継続</u> ③ 廃止   |   |                               |   |                             |   |
| ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること<br>新潟市商店街連盟への補助は必要であるため継続するが、定額補助の在り方については、引き続き検討していく。 |   |                               |   |                             |   |